

フォーカスゴールド I + Aの新テスト対応箇所

【思考法の分類】

- (1) 日常生活や社会の問題を数理的に捉える。数学の事象における問題を数学的に捉える。
- (2) 数学を活用した問題解決に向けて、構想、見通しを立てる（構想力）
- (3) 焦点化した問題を解決する
- (4) 解決過程を振り返り、活用したり体系化したりする（批判的思考）
- (5) 数学的な表現を用いる

| ページ数 | 扱い | 内容 | 思考法 |
|------|-----------|--|---------|
| 42 | STEPUP 1 | 多項式にある多項式を誤って引いたとき正しい多項式を求める。 | (1) |
| 50 | 例題の注 | 有理化の有効性。分母に無理数より分子に有理数のほうが概数を求めやすい。 | (3) |
| 51 | 例題21の(2) | 文字の範囲をもとに、平方根の中身の正負を判定し絶対値を用いて表現する。 | (2) |
| 58 | STEPUP 10 | 例題21の(2)と同様 | (2) |
| 68 | 例題34 | 不等式を満たす整数解の個数により不等式の係数を求める。 | (5) |
| 82 | コラム | 2つの2次方程式の共通解について、同値性を意識した考え方(多様な考え方)の提示。 | (4) |
| 89 | コラム CB | 数学は暗記科目かという内容で学習方法、数学への考え方などを提示。 | (1)～(5) |
| 108 | 例題57(1) | 2つの2次関数に焦点をあて、どのように平行移動したかの方法を求めている。 | (2) |
| 111 | 例題の注 | グラフの移動は順序が大切であることを、実際に違った手順で移動し見せている。 | (3) |
| 114 | コラム 解説 | 放物線の対称性についての説明。 | (5) |
| 122 | 例題の考え方 | 定義域と軸との関係について、場合分けのポイントを図を用いて説明。 | (5) |
| 142 | 例題の注 | 放物線とx軸との位置関係と頂点のy座標の符号の説明 | (4) |
| 145 | コラム 解説 | 放物線と直線との位置関係と判別式の関係。 | (2) |
| 165 | 例題の注 | 頂点のy座標と判別式の複数表記 | (4) |
| 167 | 例題の注 | 存在範囲の問題で、3つの条件のうち、調べなくてもいいという理由 | (4) |
| 182 | コラム CB | 数学が得意な人になるという内容で学習法。繰り返しの演習や初めての問題に対しての対処法など | (1)～(5) |
| 216 | コラム | 三角形の成立条件を対話形式での展開 | (4) |
| 230 | コラム | 三角形の角の二等分線の長さを違う観点からの解説 | (5) |
| 245 | コラム CB | 日々の授業の受け方という内容の学習法。予習から復習までの取り組み方で思考を養う。 | (1)～(5) |
| 294 | 例題166 | 仮平均の問題と、要素を加えると平均はどうなるかのポイント | (1) |
| 299 | 例題171 | データの分析で正しいかどうかの文章選択。 | (4) |
| 305 | STEPUP 7 | 2つの母集団の平均が分かっている状態で、全体の平均を求める問題。 | (2) |
| 309 | コラム 解説 | 2次元の度数分布表に関する内容 | (5) |
| 312 | 例題175 | データの取間違いからの相関係数を求める。 | (4) |
| 314 | 例題176 | データの分析の総合問題 正しいかどうかの選択問題も入っている | (4) |
| 318 | コラム | アクティブラーニングについて、生徒の取り組み姿勢についての内容 | (1)～(5) |
| 327 | 例題180 | 支払える金額の問題(場合の数の応用的な問題) | (1) |
| 342 | 例題190 | 立方体の塗分け。円順列を応用的に考える内容 | (1) |
| 346 | まとめ 注 | 組合せの公式を、具体的な内容で解説 | (1) |
| 348 | 例題の注 | p.346の注と同じ感じで、別解ではなく別視点の考え方 | (5) |
| 353 | 例題197 | 乗り物の分乗。組合せだけではなく、融合的な考え方が必要。日常との関連。 | (1) |
| 368 | STEPUP 22 | 最短距離や道順の内容について、立体的に捉える内容。通常の問題とは違う視点。 | (3) |
| 376 | コラム 解説 | 同様に確からしいの内容をいろいろな視点から取り上げた内容。 | (5) |
| 381 | 例題の注 | 確率の問題を、余事象を用いるとどのようになるかなど、別視点からの内容を取り上げる。 | (5) |
| 402 | コラム 解説 | 同様に確からしいの内容をいろいろな視点から取り上げた内容。 | (5) |
| 404 | 例題の注 | 条件付確率を樹形図を用いて解説 | (3) |
| 406 | コラム | 戻す場合と戻さない場合の独立と条件付の内容がはいっている。 | (5) |
| 408 | 例題231 | 原因の確率 | (1) |
| 462 | コラム 解説 | 不定方程式と図形的意味 | (5) |
| 489 | コラム | 既約分数の分母についてのコラム(素因数が2, 5以外にないという事実)新課程内容 | (3) |
| 495 | 例題269 | n進法の活用として分銅の問題を扱う | (1) |
| 513 | コラム CB | 問題との向き合い方という内容の学習内容 | (1)～(5) |
| 523 | コラム | 辺の三等分・五等分のを実際に折り紙を通して解説 | (5) |
| 525 | コラム 解説 | 補助線について ひらめきではなく図形的な意味があること | (4) |
| 529 | コラム | 平面図形の証明への応用という内容で、図形の証明を別視点で扱う。 | (4) |
| 539 | 例題289 | 今の教科書では取り上げられていない面積比の内容を掲載 | (5) |
| 539 | 練習289 | 図形問題と点の移動について | (5) |
| 546 | STEPUP 1 | 五心についての関係性を問題で出題 | (3) |
| 548 | コラム | 加重重心とチェバ・メネラウス | (2) |
| 564 | コラム 解説 | 震源・震央の特定ということで、日常の話題と融合問題 | (1) |
| 565 | コラム | カヴァリエリの原理を使った問題、新課程で出されそうな内容 | (1) |
| 571 | 例題の注 | トレミーの定理を、言葉で表すという内容。数式でない表現が新テスト向け | (5) |
| 608 | STEPUP 24 | 容器を傾けたら水がこぼれるという内容。日常の内容との関連 | (1) |
| 611 | コラム CB | 問題が解けるようになるための3つの鍵という内容で、勉強法で思考法の育成ができる。 | (1)～(5) |